

1. 論文の構成

- 1) 表題：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。
- 2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する（2名以上記載する場合）。
- 3) 要旨：「目的」、「方法」、「結果」、「結論」について項を分けて簡潔に記載する。
- 4) キーワード：標題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。国際的に通用する言語又は日本語で表示する。公益社団法人日本理学療法士協会ホームページの会員専用サイト「マイページ」、「学術関連」、学術キーワード集を参考にすること。

5) 本文：

※番号は、I・1・1)・(1)の順位にて記載する。

①はじめに（序論・緒言）

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。

②対象および方法

用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す。

④考察（分析）

結果の分析・評価、今後の課題などを記述する。

⑤謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者、および助成金受給については謝辞に記載する。

2. 原稿の分量

研究論文は、要旨・文献・図表を含んで原則として400字詰め原稿用紙30枚・12,000字相当。短報は要旨・文献・図表を含んで原則として400字詰め原稿用紙10枚・4,000字相当。症例研究は、要旨・文献・図表を含んで400字詰め原稿用紙15枚・6,000字相当。調査は、要旨・文献・図表を含んで原則として400字詰め原稿用紙30枚・12,000字相当。図表は、刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字詰め原稿用紙1枚として換算すること。

3. 要旨

論文には和文の要旨（400字程度）をつける。

4. 表紙頁および著者頁

論文には表紙頁および著者頁をつける。表紙には標題、希望する原稿の種類、英文標題、キーワード（3個）を記載する。著者頁には著者名と職種、所属名、英文の著者名と所属名、責任著者連絡先（Email アドレス含む）を記載する。

5. 図表

図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、許可証を提出すること。

スライド図・表は投稿用に作成し直す。

図・表の挿入位置を指示する場合は本文の右欄外に記載する。

6. 文献（引用文献のみとし、必要最小限にとどめる）

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初—最終）の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載する。当該箇所の右肩に一連番号をつける。文献の省略は公の省略法（Index Medicus など）に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合には最初の2名を記載し、他は、他、または et al, とし、抄録を引用する場合は、最初の著者氏名のみとする。

[例]

- 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程—Ten Step Test を用いて—. 理学療法学, 2008; 35: 35 - 41.
 - 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in Functional Walking Distance and Health-Related Quality of Life After Gastric Bypass Surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928-935.
 - 3) 信原克哉: 肩—その機能と臨床—(第3版). 医学書院, 東京, 2001, pp156 - 168.
 - 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. in: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp97-112.
 - 5) 名郷直樹: EBM の現状と課題, エビデンスに基づく理学療法 活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖(編), 医師薬出版, 東京, 2008, pp. 18-38.
 - 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版.
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011年12月19日引用)
- #### 7. 数量の単位
- 単位は原則として国際単位系(SI 単位)を用いる。長さ:m、質量:kg、時間:s、温度:℃、

周波数：Hz 等。

8. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する

9. 機器名の記載法

機器名は「一般名(会社名、製品名)」で表記する。なお、統計ソフトは「製品名、バージョン番号とする」。

10. その他

OSは、Windows、本文はMicrosoft Wordを、図表は、Microsoft Power Point や Microsoft Excel を使用する。

2010年10月作成

2013年12月改定